

西春日保育所では、平面、立体、遊びから生まれるアート、個人制作、共同制作、さまざまな取り組みをしています。午前中、もしくは午後13時0分～1時間程を使って活動しています。7月にキャンプというイベントがあったので、それに向けて気持ちを高める為、キャンプにからめたプロジェクトをいくつかすることにしました。なかでもテントづくりは3週間ほどかけてつくりあげていきました。自分より大きなものをつくる、という面白さや、それが存在することで、いつもの教室が違って見える、という感覚がありました。完成してからはもちろん、制作途中でもテントの中に入って遊んだり、楽しそうな声が聞えました。個人制作で紙ねんどの自由制作は、それぞれの個性が発揮できました。繊細につくる子、ダイナミックにつくる子、一袋では足りず、ひとりで2、3袋を使って大きな(長い)作品をつくりだす子も。女の子らしい可愛いケーキを細かい作業でつくったり、形はシンプルでも着彩を複雑にすることで魅力的な作品に仕上げる子も。ただクレヨンや絵の具を使って絵を描くだけでなく、しゃぼん玉を使ったり、アルミホイルを遊びに取り入れたり、絵の具も蛍光色やラメ入りを使用したり、毎回違う道具を取り入れて、できるだけ多種多様な素材体験が出来るように心がけています。細かい作業よりも、体を使った大きな作業で本領発揮できる子、またその逆も多く見られます。それぞれ自分の気に入った素材や表現方法を見つけて、豊かな作品づくりができれば、と考えます。



テントづくり

画用紙にそれぞれどんなテントをつくりたいか絵に描いてアイデアを出してもらいます。用意したのは大きい段ボール。テンションが上がります。自由に大きさを決めてもらい、窓の形や場所も決めてもらいました。四角い窓、まるい窓、ハート型や星型、いろんな窓ができました!テントの周りには白い紙を貼り、楽しくペインティング!中で内緒話をしたり、かるたをしたり。天井から星もぶら下げました。どんどん手が加わって進化していく、現在進行形のテントです!ボロボロになっても遊んでね!



紙ねんど

市販の紙ねんどをひとりで一袋づつ配り、まずはテーマを決めてもらいました。「きょうりゅう」「どうぶつ」「ケーキ」のチームになんとか分かれ、自由につくりました。途中、ストローを出してみました。グサグサさせてポップな生き物になったり、ストローの曲がった部分をうまく使って表現する子も。ストローをトントンとねんどに押し付けて、まるい跡をたくさんつけて模様としている子も。乾いた作品に着彩をしました。蛍光色の絵の具を何色か使ったので、とても鮮やかに仕上がりました。

